



上) 草刈りの様子
下) 防災訓練の様子



●会長 ひでたか 兎澤 秀隆 さん
●軽井沢自治会 (尾去沢地区)
世帯数: 62 世帯
人数: 160 人

軽井沢自治会は、尾去沢地区の北西部、かなやまアリーナの北側に位置する自治会です。元々、尾去沢鉦山従業員の長屋があったところが宅地分譲され、昭和58年に、さまざまな地域から入居した人たちで自治会が結成されました。

当自治会では、春と秋のクリーンアップや草刈りなどの環境整備活動や防災訓練、高齢者で結成されるふれあいクラブが実施する花壇の整備活動を行うほか、若者会が毎年8月に納涼会を開催しています。昨年は子ども会と合同でバーベキュー会を開催し、子どもからお年寄りまで参加して盛り上がりました。また、市

各部門が 協力・連携して 活動する自治会

民運動会などの市民センター行事には、軽井沢・山方子ども会と一緒に参加しています。

自治会役員が30代・40代・50代・60代と各年代から構成され、将来へ引き継ぐ体制も整いつつありますが、一方で自治会行事参加者の固定化が課題となっています。

地域内の少子高齢化が顕著であり、高齢者の一人世帯などが増えてきていますが、民生委員と協力し、見回りを行っています。当自治会を担当している民生委員は、山神社自治会も担当していますが、民生委員と山神社自治会および当自治会の会長で、可能な範囲で情報共有を行いながら、地域を見守る体制をさらに充実させていきたいと考えています。今後も、自治会内はもとより、近隣自治会と連携・協力しながら自治会運営を行っていきます。



政策企画課
鹿角ライフ促進班

移住コンシェルジュ
ひだか あい
日高 明衣さん

鹿児島から日本を縦断するように移住した私ですが、鹿角での生活も4カ月目を迎えました。「なぜこんな所に?」とあいさつ代わりに聞かれます。始めから良い環境にいとそれが当たり前になり、「ある」ものとして認識されないんだな、というのが移住をして知ったことです。決して悪いことではなく、とても幸せなことですね。

他所から来た私たちは比較対象を持っているので、鹿角に「あるもの」や「いいところ」がよく見えるんです。それをまだ見ぬ移住者に伝えるのが、我々「移住コンシェルジュ」の仕事です。SNS発信や首都圏

フェアへの参加、お試しツアーなど発信する方法はたくさんあります。この活動が、転出した人でも「また帰ってきたいな」と思う材料になれば、とも考えています。

鹿角市では、平成27年度から移住に関する取り組みを開始して今年で10年目を迎えます。これまでの移住者数は、令和5年度末で466人になりました。私もその内の一人です。移住には、希望を持ちつつ同じくらい不安もありました。そんな私たちに距離を置かず声をかけてくださる鹿角の人々の温かさが、どんなに嬉しかったことか。皆さんのおかげで「ここに来て良かった」が心の中で日々更新されています。つまり、地域住民の存在も立派な鹿角の魅力なんです。私はこの魅力を力強く宣伝していきます。



クモ 蜘蛛の糸



たかみつ 志賀 貴光 弁護士

法テラス鹿角法律事務所

- 所在地 福祉保健センター内 (2階)
- 相談受付時間 9時～17時30分
- ※要予約

連休の初め、弁護士1年目に仲良しだった事務員さんが若くして亡くなりました。初夏の日、一緒に出掛けた仕事で早く終わり、少し寄り道してケーキを食べながら、互いの家族の話をしたことが思い出されます。怖かっただろうな、もっと早く電話すればよかったなと後悔ばかりです。

仕事も、早い方が良いはずですが、弁護士は待つことも多いです。裁判は1カ月置きに進むので、相手がどんな反論をしてくるか1カ月待ちます。依頼者や相手方の心境の変化をじっと待つこともあります。とりわけ、「司法ソーシャルワーク」という分野では、年単位で待ちます。

小説「蜘蛛の糸」では、天から1本の蜘蛛の糸を垂らして、カンダタを救おうとします。対して司法ソーシャルワークでは、弁護士、行政、福祉など、多職種のチームが、何本もの蜘蛛の糸の両端を一緒に持つて

網を作ります。空中ブランコの下に張る安全ネットのイメージです。

ネットがあれば、空中ブランコから落ちても大丈夫。ネットがあることで思い切ったチャレンジもできるはず。でも、このネット、信用してもらおうまで時間がかかります。天から降りてくる糸のように、即効性のある上向きのものが好まれるからかもしれません。下に落ちたら二度と上がれないという恐怖心もあるでしょう。そもそも空中ブランコをこぎ出すのにも勇気がいります。だから、焦らずに、タイミングを見て声を掛け、時を待ちます。ネットに降りたら、またブランコに戻るようにな、お手伝いします。問題が多面的なので、解決にも多職種の人が関わる、それが司法ソーシャルワークです。

僕が今も弁護士を続けられているのは、あの事務員さんが蜘蛛の糸の一端を握っていてくれたからです。逆に僕は、少しでも彼女の蜘蛛の糸になれていたのか、自問しています。



株式会社 高田工業

昭和51年に創業した左官工事専門業者です。業務内容は、主に鉄筋コンクリート造の大型建築物などで、土間コンクリートの均し・押さえ・仕上げや、壁面の段差の修正補修、各種下地の成型仕上げなどを行っています。東北自動車道・鹿角八幡平ICのすぐ近くに会社があるため、県外へのアクセスも良く、市内外を問わず請け負っています。



代表取締役社長 高田 伸吾さん

■代表から

現在、職人さん・職人さんにこれになりたいと言う人・現場での職人さんのサポート（材料の攪拌や運搬などのお手伝い）役を募集しています。

左官は、古くは奈良時代からある伝統的な職人の業種です。職人という難しく考えがちですが、誰もが最初は初心者です。一緒に地図と人の記憶に残るような建物づくりをしませんか。

- 所在地 八幡平字赤淵 191-1
- 電話 32-2502



← Instagram
はこちら



若手社員の会社自慢

一級左官技能士 成田 孝寛さん

先輩や他業者さんに褒められた時や、満足のいく仕上がりできた時などにやりがいを感じます。連休も取りやすいので、家族との時間も大切にできます。